

正・副会長選出について（案）

令和3年度は改選期となるため、事務局からは以下のとおり会長1名及び副会長2名を提案します。

役職	氏名	
会長	丹羽秀則	(留任)
副会長	丹治敏男	(留任)
副会長	三海幸彦	(新任)

「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※令和2年度第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会(令和2年11月19日)以降の経過

令和3年1月25日	米軍再編に係る三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について
	米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について
	米軍再編に係る岩国飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
18	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1回程度					H19.1.11通知、3月を目途とし回数 の明記はないが1回と思われる
	築城	H19.3.5(月)～3.8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の 連絡会議	
	計	築城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣	
19	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):3回程度					H19.1.31通知
	小松	H19.5.16(水)～5.23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行わ れていない。
	築城	H19.6.18(月)～6.22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無	
	三沢	H19.7.16(月)～7.21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行わ れていない
	新田原	H19.9.3(月)～9.5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣	
	百里	H19.10.15(月)～10.19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣	
	小松	H19.11.5(月)～11.16(金)	F15×12機 約180人	Ⅱ	嘉手納	無	F15事故調査のため中止
	百里	H20.1.15(火)～1.18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無	
	新田原	H20.2.12(火)～2.15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無	
	千歳	H20.2.25(月)～2.28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 Ⅱ:0回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣		
20	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加): タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):併せて10回程度					H20.6.20通知
	三沢	H20.7.23(水)～7.30(水)	F15×6機 約80人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行わ れていない。
	新田原	H20.9.2(火)～9.4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無	
	小松	H20.12.1(月)～12.5(金)	F16×6機 約80人	Ⅱ	三沢	無	
	千歳	H20.12.8(月)～12.12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣	
	新田原	H21.2.23(月)～2.27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 Ⅱ:2回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣		
21	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):3回程度					H21.1.28通知
	千歳	H21.4.20(月)～4.23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣	
	三沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	Ⅱ	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行わ れていない。
	百里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は 全て中止。テスト飛行1回のみ。
	小松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	Ⅱ	①岩国 ②三沢	無	11/14・15の土日の訓練は行われて いない。
	百里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	Ⅱ	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われて いない。
	三沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	Ⅱ	岩国	無	2/27・28、3/6・7の土日の訓練は行 われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加
	築城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われてい ない。
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:2回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 計:6回		I:2回 Ⅱ:4回	三沢:2回 岩国:4回 嘉手納:1回	1基地派遣		
22	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) タイプⅠ・Ⅱあわせて15回程度					H22.1.29通知
	小松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われて いない。
	三沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。
	千歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。
	小松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	Ⅱ	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実 施されたため土日の訓練有り。
計	千歳:1回 小松:2回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 Ⅱ:4回	三沢:1回 岩国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
23	計画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定					H23.10.4通知	
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。	
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無		
	百里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	II	岩国	無		
	計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し		
24	計画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定					H24.3.22通知	
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	千歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣		
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	新田原	H25.1.14(月)～1.18(金)	FA18×6機 約90人	II	岩国	無		
	グアム	H25.1.21(月)～1.30(水)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H25.1.29(火)～2.15(金)	F15×12機 約260人	グアム	嘉手納	無		
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:1回 岩国:5回 嘉手納:1回	1基地派遣			
25	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H25.3.27通知	
	新田原	H25.6.17(月)～6.21(金)	FA18×8機 約120人	II	岩国	無	台風接近のため17～19日で終了	
	千歳	H25.7.8(月)～7.12(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	1名派遣		
	グアム	H25.7.10(水)～8.2(金)	FA18×20機 約550人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.8.12(月)～8.23(金)	F15×18機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場の訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.10.28(月)～11.8(金)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	FA18×20機 MV-22×4機 約1,120人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	F15×14機 FA18×6機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小松	H25.12.7(土)～12.14(土)	F15×6機 約90人	II	嘉手納	無	悪天候のため9日、11日のみ実施	
	グアム	H26.2.10(月)～2.28(金)	F16×12機 約260人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.2.10(月)～2.28(金)	F15×18機 約420人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:7回 計:10回		I:0回 II:3回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:4回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
26	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H26.3.28通知	
	三 沢	H26.6.12(木)～6.24(火)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練及び空対地射撃訓練に参加。	
	グアム	H26.6.19(木)～7.10(木)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.5(金)～9.26(金)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.15(月)～10.7(火)	FA18×16機 MV22×4機 約1,140人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H26.10.18(土)～10.31(金)	F15×12機 約200人	Ⅱ	嘉手納	無		
	小 松	H26.11.7(金)～11.20(木)	F16×8機 約140人	Ⅱ	三沢	無		
	グアム	H26.12.3(水)～12.19(金)	F15×18機 約400人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.2(月)～2.28(金)	F16×14機 約400人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.9(月)～2.28(金)	F15×18機 約410人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	百 里	H27.3.9(月)～3.21(土)	FA18×5機 約60人	Ⅱ	岩国	無		
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:10回		Ⅰ:0回 Ⅱ:4回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:3回 嘉手納:5回	派遣無し			
27	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H27.3.25通知	
	グアム	H27.7.13(月)～8.7(金)	FA18×10機 約240人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.8.17(月)～9.4(金)	FA18×10機 約260人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	築 城	H27.8.21(金)～9.3(木)	F15×12機 約190人	Ⅱ	嘉手納	無		
	百 里	H27.9.7(月)～9.18(金)	FA-18×5機 約80人	Ⅱ	岩国	無		
	グアム	H27.9.11(金)～10.8(木)	FA-18×10機 EA-18×5機 約440人	グアム	岩国 三沢	無	岩国飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	三 沢	H27.12.1(火)～12.18(金)	F-15×12機 約300人	Ⅱ	嘉手納	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練に参加。	
	グアム	H27.12.2(水)～12.18(金)	FA-18×10機 EA-6B×5機 約420人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H27.12.8(火)～12.11(金)	F-15×4機 約50人	Ⅰ	嘉手納	無		
	千 歳	H28.1.12(火)～1.22(金)	FA-18×5機 約70人	Ⅱ	岩国	1名派遣		
	グアム	H28.2.1(月)～2.28(日)	F-16×14機 約280人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H28.2.7(日)～2.28(日)	F-15×18機 約460人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小 松	H28.3.7(月)～3.18(金)	FA-18×6機 約70人	Ⅱ	岩国	無		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		Ⅰ:1回 Ⅱ:5回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:7回 嘉手納:4回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
28	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H28.4.4通知	
	グアム	H28.7.19(火)～8.12(金)	EA-18G×5機 約190人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等への移転	
	小松	H28.7.25(月)～7.29(金)	F-15×5機 約90人	I	嘉手納	無		
	グアム	H28.9.8(木)～9.23(金)	F-15×5機 EA-18G×5機 約400人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H28.9.8(木)～9.27(火)	F-15×12機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	千歳	H28.12.5(月)～12.16(金)	AV-8B×4機 約90人	II	岩国	1名派遣		
	グアム	H29.2.15(水)～3.3(金)	F-15×12機 FA-18×8機 約700人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場及び岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H29.2.15(水)～3.3(金)	F-16×14機 EA-18×6機 約440人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:3回 岩国:2回 嘉手納:4回	1基地派遣			
29	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H29.3.29通知	
	グアム	H29.4.20(木)～5.8(月)	F-15×14機 約270人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	三沢	H29.7.7(金)～7.14(金)	F-15×6機 約160人	II	嘉手納	無		
	百里	H29.7.7(金)～7.21(金)	FA-18×6機 約140人	II	岩国	無		
	築城	H29.9.30(土)～10.7(土)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無		
	新田原	H30.1.19(金)～1.26(金)	F-15×6機 約140人	II	嘉手納	無	米軍の運用上の都合(火山活動が飛行の安全に影響を及ぼす可能性があるため)中止	
	百里	H30.1.22(月)～1.26(金)	F-16×5機 約100人	I	三沢	無	米軍の運用上の都合(米国政府の予算措置の関係上)により中止	
	グアム	H30.2.8(木)～3.6(火)	F-15×12機 FA-18×8機 約660人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
グアム	H30.2.12(月)～3.9(金)	F-16×14機 約300人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転		
計	千歳:0回 小松:0回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:6回		I:0回 II:3回 グアム:3回	三沢:2回 岩国:2回 嘉手納:3回	派遣無し			
30	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H30.3.16通知	
	百里	H30.4.6(金)～4.12(木)	FA-18×5機 約60人	I	岩国	無		
	千歳	H30.4.23(月)～4.27(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	1名派遣		
	三沢	H30.5.9(水)～5.24(木)	F-35×8機 約140人	II	岩国	無		
	小松	H30.7.16(月)～7.20(金)	F-15×6機 約120人	II	嘉手納	無		
	グアム	H30.9.4(火)～9.30(日)	F-15×12機 EA-18×5機 約500人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30.9.4(火)～9.30(日)	FA-18×10機 F-35×8機 約960人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30.9.10(月)～9.21(金)	F-15×12機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	新田原	H30.10.27(土)～11.8(木)	F-15×8機 約140人	II	嘉手納	無		
	築城	H30.11.5(月)～11.8(木)	F-16×6機 約80人	II	三沢	無		
	グアム	H31.2.11(月)～3.7(木)	F-16×14機 約310人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H31.2.13(水)～3.12(火)	F-15×12機 FA-18×10機 約670人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
グアム	H31.3.11(月)～3.29(金)	FA-18×17機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		I:1回 II:5回 グアム:6回	三沢:4回 岩国:5回 嘉手納:5回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
令和元年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H31.3.25通知	
	グアム	H31.4.22(月)～4.27(土)	F-15×6機 F-16×6機 約270人	グアム	嘉手納三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R1.6.3(月)～6.28(金)	FA-18×10機 約200人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	小松	R1.10.1(火)～10.4(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無		
	三沢	R1.10.10(木)～11.4(月)	FA-18×12機 約170人	II	岩国	無	土日祝並びに10/10、11、28日は訓練は行われていない。	
	グアム	R2.1.27(月)～2.6(木)	F-15×12機 約210人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R2.1.31(金)～3.6(金)	F-16×14機 EA-18×5機 約430人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.2.4(火)～3.11(水)	F-15×12機 FA-18×10機 E-3×2機 KC-135×2機 約680人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.3.2(月)～3.26(木)	FA-18×16機、EA-18×3機 E-2D×4機 約510人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
	グアム	R2.3.6(金)～3.31(火)	FA-18×16機、EA-18×3機 約430人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:7回 計:9回		I:0回 II:2回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:5回 嘉手納:3回	派遣無し			
2年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R2.3.30通知	
	千歳	R2.8.24(月)～8.28(金)	F-15×6機 F-16×6機 約200人	II	嘉手納三沢	1名派遣		
	新田原	R2.10.26(月)～11.5(木)	F-15×12機 約200人	II	嘉手納	無		
	グアム	R3.2.1(月)～2.28(日)	F-16×15機 EA-18G×5機 約520人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施	
	グアム	R3.2.3(水)～2.19(金)	F-15×14機 E-3×2機 約370人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施	
	グアム	R3.2.3(水)～3.9(火)	FA-18×12機 約310名	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施	
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:2回 岩国:1回 嘉手納:3回	1名派遣			

新田原基地訓練移転調査結果

1 訓練概要

- (1) 訓練時期 令和2年10月26日(月)～11月5日(木)
タイプⅡ
- (2) 訓練形態 【米軍】 第18航空団(嘉手納)
- (3) 参加部隊 【航空自衛隊】 第5航空団(新田原)
戦闘機戦闘訓練等
- (4) 演練項目 四国沖空域、九州西方沖空域
【米軍】 F-15×12機程度、人員200名程度
- (5) 訓練空域 ※人員、物資輸送のため輸送機(C-17、C-130)が期間の前後に飛来
- (6) 参加規模 【自衛隊】 F-15×15機程度

2 調査結果

	九州防衛局	宮崎県新富町
日米共同訓練に係る協定について	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年4月16日締結九州防衛局、新富町、西都市、宮崎市、高鍋町、木城町 	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年4月16日福岡防衛施設局と基地周辺の2市3町(新富町、西都市、宮崎市、高鍋町、木城町)との間で「米軍再編に係る新田原基地への訓練移転に関する協定書」を締結 平成19年5月10日町独自の覚書を締結 訓練移転についての「情報提供の在り方」、「安全対策の具体的な対応」、「米軍の基地内宿泊を前提とした調整」等について課題が残り、国と県を含めた関係自治体で協議し、文書化を図ることを確認。
住民の周知について	<ul style="list-style-type: none"> 公表 10/16(金) 	<ul style="list-style-type: none"> 10/16(金)に訓練を計画しているとの連絡あり(公表) 10/19(月)に全地区(全戸)に文書配布及びIP告知放送(町防災無線)で周知
米兵の行動の把握について	<ul style="list-style-type: none"> 米軍(約200名)は基地外ホテルに宿泊。宿泊先と新田原基地の移動はレンタカーを使用。 局職員にて、ホテル周辺や市街地を徒歩にて巡回。また、車両による巡回も実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 役場内連絡本部設置 米軍は新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため宮崎市内の民間宿泊施設に宿泊 米兵が運転するレンタカーで宿舎～基地間を移動 10/29(木)米軍F-15オイルキャップ遺失(約4cm約63g) 国に対し安全対策を徹底するよう要請文を发出
騒音について	<ul style="list-style-type: none"> 騒音について 常時測定器(6台)を用いて、訓練期間中、ピークレベル及び騒音発生回数を確認し、関係自治体等へお知らせ 騒音測定結果 最大 106.4dB(国測定箇所) 騒音苦情件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> 防衛局の固定測定局 町内3カ所、西都市3カ所 町の固定測定局5カ所 騒音苦情件数 4件 見物者に関する苦情件数 7件(路肩駐車等) 騒音測定結果 最大 106.4dB(国測定箇所) 町測定箇所(基地南側目視調査ポイント) 米軍機 最大 120.2dB 自衛隊機 最大 120.3dB 日米共同統合演習(キーンソード)の一部として実施するため、10/31(土)と11/3(祝)に訓練実施の連絡あり(その後、11/3(祝)については中止することの連絡あり)

(お知らせ)

令和3年1月25日
防 衛 省

米軍再編に係る三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練
計画概要について

米軍再編に係る三沢飛行場からグアム等への訓練移転（単独訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は109回目（国内59回、グアム等50回）となり、グアム等への訓練移転は、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、本来であれば、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練を、グアム等へ移転するものです。

- 訓練期間：令和3年2月1日（月）～2月28日（日）
（訓練は週5日間実施）
 - 参加部隊：第35戦闘航空団（三沢）
 - 訓練場所：グアム島のアンダーセン空軍基地及び北マリアナ諸島の
ファラロン・デ・メディニラ空対地射場
 - 演練項目：空対地射爆撃訓練及び戦闘機戦闘訓練
 - 参加規模：F-16×15機程度、EA-18G×5機程度 等
人員520名程度
- ※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

(お知らせ)

令和3年1月25日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転(単独訓練)に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は110回目(国内59回、グアム等51回)となり、グアム等への訓練移転は、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、本来であれば、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練を、グアム等へ移転するものです。

- 期 間：令和3年2月3日(水)～2月19日(金)
(訓練は週5日間実施)
- 参加部隊：第18航空団(嘉手納)
- 訓練場所：グアム島のアンダーセン空軍基地及びその周辺区域
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練
- 参加規模：F-15×14機程度、E-3×2機程度
人員370名程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

(お知らせ)

令和3年1月25日
防 衛 省

米軍再編に係る岩国飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練
計画概要について

米軍再編に係る岩国飛行場からグアム等への訓練移転（単独訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は111回目（国内59回、グアム等52回）となり、グアム等への訓練移転は、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、本来であれば、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練を、グアム等へ移転するものです。

- 訓練期間：令和3年2月3日（水）～3月9日（火）
（訓練は週4日間実施）
- 参加部隊：第12海兵航空群（岩国）
- 訓練場所：グアム島のアンダーセン空軍基地及びその周辺区域
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練
- 参加規模：FA-18×12機程度
人員310名程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

令和2年度

航空機騒音測定結果について

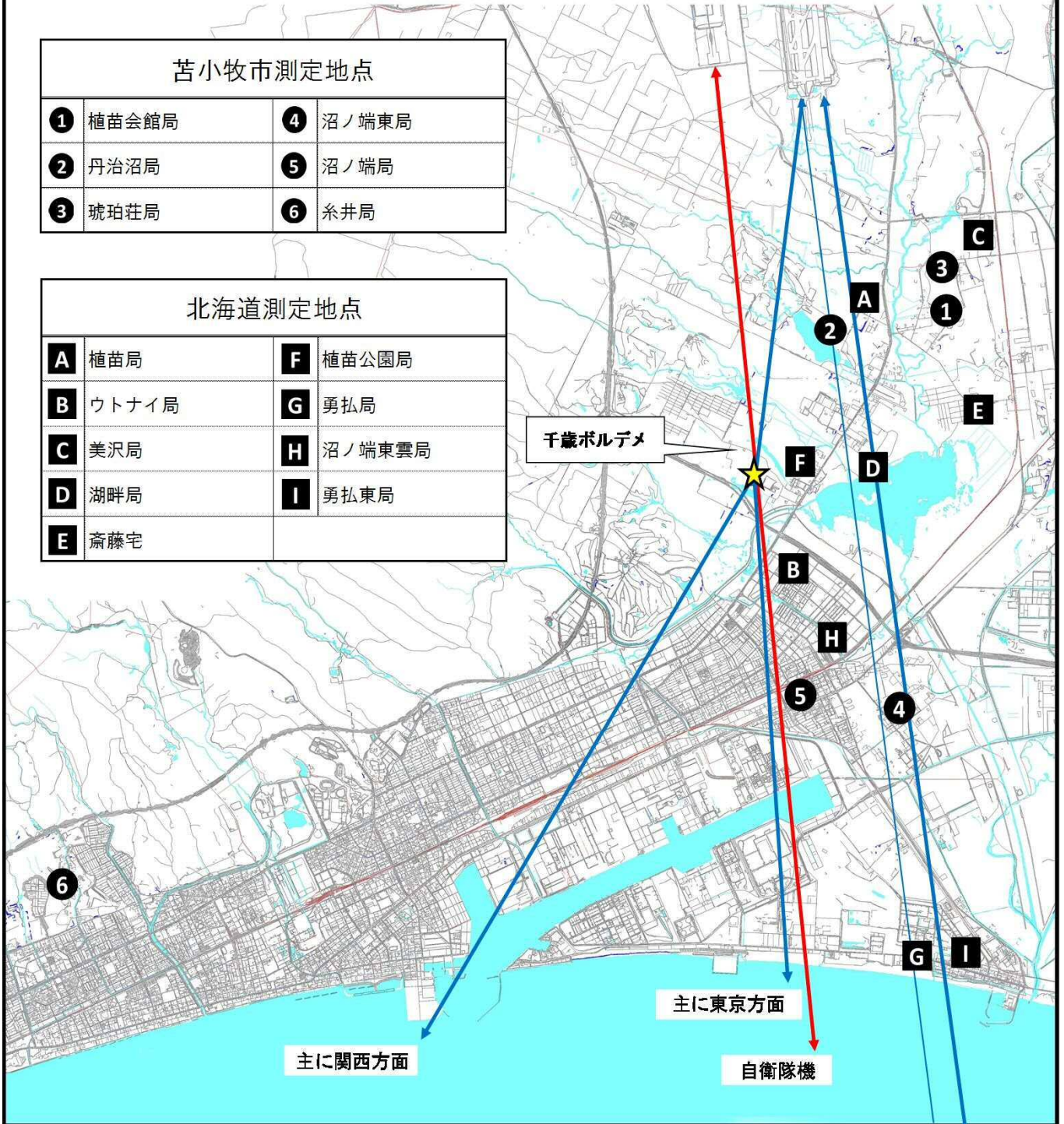
苫小牧市航空機騒音常時監視測定地点

苫小牧市測定地点

① 植苗会館局	④ 沼ノ端東局
② 丹治沼局	⑤ 沼ノ端局
③ 琥珀荘局	⑥ 糸井局

北海道測定地点

A 植苗局	F 植苗公園局
B ウトナイ局	G 勇払局
C 美沢局	H 沼ノ端東雲局
D 湖畔局	I 勇払東局
E 斎藤宅	



令和2年度 航空機騒音測定結果(時間帯別・レベル別)

	測定日数	騒音発生回数(日平均)				計	レベル別騒音発生回数(日平均値)								最高値 dB	年平均値 dB	Lden dB	
		0～7時	7～19時	19～22時	22～0時		70dB未満	70dB～	75dB～	80dB～	85dB～	90dB～	95dB～	100dB～				
北海道測定局	植苗局	365日	13 0	21,114 58	3,570 10	59 0	24,756 68	7,685 21	13,385 37	3,458 10	212 0	15 0	1 0	0 0	0 0	90.9	72.8	53.2
	ウトナイ局	365日	9 0	10,297 28	1,797 5	26 0	12,129 33	10,295 28	853 2	508 1	296 1	150 0	25 0	2 0	0 0	96.5	73.2	49.5
	美沢局	365日	5 0	16,794 46	3,062 8	34 0	19,895 55	19,068 53	506 1	275 0	44 0	2 0	0 0	0 0	0 0	86.3	64.6	43.6
	湖畔局	365日	20 0	37,429 103	6,491 18	128 0	44,068 121	25,642 71	15,270 42	2,918 8	209 0	28 0	1 0	0 0	0 0	93.8	71.0	53.8
	斎藤宅局	365日	6 0	13,360 37	2,370 7	10 0	15,746 43	15,352 42	316 1	69 0	7 0	2 0	0 0	0 0	0 0	87.5	63.2	41.9
	植苗公園局	364日	13 0	17,326 48	2,946 8	53 0	20,338 56	17,448 49	2,091 6	472 1	233 0	82 0	11 0	1 0	0 0	95.1	70.2	48.8
	勇払局	364日	1 0	16,188 44	2,874 8	63 0	19,126 52	18,275 50	728 2	89 0	24 0	5 0	2 0	0 0	0 0	91.2	65.6	45.1
	沼ノ端東雲局	365日	22 0	31,605 87	5,835 16	113 0	37,575 103	35,631 98	1,430 5	200 0	235 0	77 0	2 0	0 0	0 0	91.1	67.7	50.4
	勇払東局	365日	2 0	15,727 43	3,163 9	49 0	18,941 52	17,923 50	890 2	108 0	17 0	3 0	0 0	0 0	0 0	87.7	65.4	45.1
苫小牧市測定局	植苗会館局	364日	13 0	23,961 66	3,524 10	11 0	27,509 75	25,902 71	1,285 4	288 1	28 0	6 0	0 0	0 0	0 0	88.8	66.4	47.9
	丹治沼局	364日	26 0	36,054 99	5,698 16	116 0	41,894 115	17,800 49	20,389 56	3,326 9	334 1	44 0	1 0	0 0	0 0	90.6	72.0	54.8
	琥珀荘局	364日	14 0	26,978 74	4,158 11	24 0	31,174 85	28,761 79	1,789 5	555 2	61 0	6 0	2 0	0 0	0 0	92.5	67.2	49.5
	沼ノ端東局	364日	21 0	27,834 76	5,089 14	108 0	33,052 91	28,787 79	3,699 10	436 1	127 0	3 0	0 0	0 0	0 0	86.1	68.4	50.5
	沼ノ端局	364日	18 0	17,738 49	3,008 8	37 0	20,801 57	18,996 52	748 2	600 2	315 1	98 0	36 0	8 0	0 0	99.4	71.5	49.9
	糸井局	363日	2 0	797 2	28 0	1 0	828 2	682 2	106 0	33 0	7 0	0 0	0 0	0 0	0 0	83.6	69.1	35.0

- ・測定日数 前年4月～今年3月までの日数から欠測日数を引いた数
- ・騒音発生回数 上段 前年4月～今年3月までの総数
下段 1日平均回数＝総数÷測定日数(小数第1位を四捨五入)

航空機別の自粛時間飛行機数

(1) 民間航空機

年度	機数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数
平成28年	18	19	9	15	43	23	13	29	104	72	65	13	423	
平成29年	11	9	13	23	83	40	38	28	43	49	58	28	423	
平成30年	11	12	18	52	42	16	15	19	47	56	31	30	349	
令和元年	14	27	29	28	40	57	33	5	27	29	33	1	323	
令和2年	0	1	1	1	2	6	2	4	4	2	6	8	37	

※22時～翌日7時までの飛行を集計。24時間運用に係る深夜早朝便を除く。

(2) 自衛隊機等

年度	機数		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数	回数	機数
平成28年	3	5	3	3	15	23	15	30	12	36	2	2	0	0	20	17	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	72	118
平成29年	2	4	2	4	1	2	5	9	1	2	8	15	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	21	40
平成30年	0	0	0	0	1	2	3	4	4	8	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	12	21		
令和元年	1	2	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	9	21	
令和2年	2	4	0	0	0	0	4	8	0	0	3	4	1	2	11	29	1	4	0	0	4	4	0	0	26	55		

※22時～翌7時まで及び土日・祝日に騒音観測したものを集計(「回数」は騒音の観測回数)。

(3) 海上保安庁

年度	機数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数	機数
平成28年	1	0	3	1	1	0	5	4	2	0	2	4	23	
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	3	1	11	
平成30年	3	1	1	0	0	0	1	1	0	2	1	1	11	
令和元年	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3	
令和2年	2	1	0	0	0	1	2	3	2	2	10	1	24	

※22時～翌日7時まで及び土日・祝日に騒音観測したものを集計。

令和2年度 深夜・早朝新千歳空港使用通報
(24時間運用に係る深夜早朝便を除く。)

No.	離着陸日時		定刻	苫小牧		千歳		航空会社		機種	運航目的	路線		使用理由						使用理由内訳	騒音記録		
				離陸	着陸	離陸	着陸	便名	出発空港			到着空港	緊急事態	機材故障	天候	航空管制等	その他						
1	5月20日	22:12	21:45				○	ADO 37	B737-700	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳							○	当該便は2便前の函館発羽田行ADO59便が羽田空港到着後、センター燃料タンクの修復作業に時間を要し、使用する機材を変更したため遅延が生じた。	騒音記録該当なし		
2	6月12日	22:17	21:45				○	ADO 37	B737-700	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳							○	当該便で使用予定の機材に、前便でエンジン部分の不具合が発見され、他便からの接続に機材を変更したため遅延が生じた。	騒音記録該当なし		
3	7月5日	22:22	20:30				○	ANA 1115	DHC-8-402	定期・旅客	新潟	新千歳							○	当該便は出発準備中に機体不具合(POWER PLANT MSG APPER)が発生、修復作業をしたが不具合は解消しなかった。その後、到着した機材に変更し運航を再開したが大幅に出発が遅れた。	騒音記録該当なし		
4	8月9日	22:04	20:45	○				JJP 118	A320-200	定期・旅客	新千歳	成田国際								○	チェックインシステムに障害が発生し、マニュアルにて搭乗手続き及び旅客荷物の搭載を行ったことにより、時間を要したため遅延が生じた。	丹治沼 22:15:13 65.4dB	
5	8月17日	22:12	21:05				○	JAL 528	B777-200	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)								○	機材故障が発生したため別機材(JAL529到着21:09)を使用して運航したが、載せ替え作業等に時間を要したため遅延が生じた。	騒音記録該当なし	
6	9月4日	22:21	21:45				○	ADO 37	B737-700	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳								○	当該便は運航予定の機材に不具合が生じたため機材を変更する事となったが、変更した機材は別の運航を行っており、前便の羽田空港到着時刻が遅いことで、当該便の出発時刻に遅延が生じた。	騒音記録該当なし	
7	9月8日	22:21	21:05	○				JAL 528	B777-200	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)									○	前便のJAL527が羽田空港出発時、不具合(ノックピットのパネルの一部が発熱)が発生し、整備士による確認を行いました原因が特定できなかったため。	丹治沼 22:22:26 65.7dB 沼ノ端 22:23:18 61.7dB 沼ノ端東 22:23:26 63.2dB
8	9月17日	22:05	21:45				○	ADO 37	B767-300ER	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳								○	当該便は羽田空港において、誘導路上に油漏れが発見されたことによる誘導路の点検が重なり、航空管制の指示により出発が遅れた。	騒音記録該当なし	
9	9月22日	22:13	20:15				○	JAL 3117	B737-800	定期・旅客	中部国際	新千歳									○	JAL3412/JAL319J が中部国際空港到着後に部品欠落が判明(直径6mmの円形、厚さ1mm、重さ0.1g、金属製のもの)。このため、接続のJAL3117をJAL320Jに機材を変更したため。	騒音記録該当なし
10	9月22日	23:20	21:20	○				JAL 530	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)									○	上記 JAL3117/JAL320J便が定刻より2時間6分遅れでの到着となったため、折り返しJAL530便は遅延した。	琥珀荘 23:21:15 63.0dB 植苗会館 23:21:34 62.6dB 丹治沼 23:21:40 69.9dB 沼ノ端 23:22:27 61.7dB 沼ノ端東 23:22:32 62.9dB
11	9月25日	22:21	20:30				○	ANA 1115	DHC-8-402	定期・旅客	新潟	新千歳									○	当該便は出発準備中に機体に不具合が発生し、修復作業を実施したが解消できず、別に到着した機材に変更したため。	沼ノ端 22:18:35 75.6dB 沼ノ端東 22:18:36 64.4dB

令和2年度 深夜・早朝新千歳空港使用通報
(24時間運用に係る深夜早朝便を除く。)

No.	離着陸日時		定刻	苫小牧		千歳		航空会社		機種	運航目的	路線		使用理由						使用理由内訳	騒音記録	
				離陸	着陸	離陸	着陸	便名	出発空港			到着空港	緊急事態	機材故障	天候	航空管制等	その他					
12	10月16日	22:27	20:00				○	SKY 727	B737-800	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳		○							当該便が新千歳へと向け飛行中に除氷装置に不具合が発生し羽田空港へと引き返し、別の機材を使用して再運航(羽田 20:55発)したため遅延が生じた。	騒音記録該当なし
13	10月16日	23:14	21:00	○				SKY 730	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)		○							前便(SKY727 羽田-新千歳)が飛行中に機材不具合により使用不可となり、別の機材を使用して再運航を行ったが、玉突きで遅延が発生した。	丹治沼 23:15:55 66.2dB 沼ノ端 23:16:41 60.8dB 沼ノ端東 23:16:48 62.7dB
14	11月3日	22:02	21:45		○			ADO 37	B767-300	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳							○		当該便の3便前にあたる、AD084便(旭川発羽田行き)出発時の保安検査場混雑に伴い、旭川空港出発までに時間を要したため。	沼ノ端東 22:00:17 66.5dB 丹治沼 22:01:38 73.4dB 琥珀荘 22:01:53 60.0dB
15	11月5日	22:06	21:45				○	ADO 37	B767-300	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳		○							当該便はAD032便(千歳発羽田行き)羽田空港到着後前方の貨物室ドアが開閉できない事象が発生した為整備作業を実施したが時間を要する事から飛行機を変更して運航をおこなったため。	騒音記録該当なし
16	11月8日	22:37	21:00	○				SKY 730	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)							○		SKY178(新千歳-神戸)で使用する機材が不具合により使用不可となり当該便で使用予定の機材をSKY178として使用する機材変更を新千歳にて実施したため。	丹治沼 22:39:10 71.1dB 琥珀荘 22:39:13 64.3dB 植苗会館 22:39:18 60.6dB 沼ノ端 22:40:05 63.8dB 沼ノ端東 22:40:11 66.9dB
17	11月23日	22:05	21:15				○	ANA 717	B737-800	定期・旅客	中部国際	新千歳		○							当該便は、前便において使用機材不具合(操縦室計器)に伴い搭乗予定運航乗務員の乗り継ぎが遅れたため。	騒音記録該当なし
18	12月9日	22:04	21:30				○	JAL 2909	E170	定期・旅客	仙台	新千歳		○							当該便の前便JAL2906が速度計ヒーターを故障したため駐機場へ引き返し、JAL222Jへ機材変更した。54分の遅延で再出発し、新千歳空港へ22時04分に着陸した。	騒音記録該当なし
19	12月10日	22:00	21:15				○	ANA 988	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)							○		当該便は、機材故障の為に欠航となったANA82、ANA788、JAL878Aの旅客を救済するために、33分遅延して就航した。	騒音記録該当なし
20	12月26日	22:07	21:15				○	JAL 529	B767-300	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳		○							当該便は使用予定機材に逆噴射装置の故障が発生したため、601Jへ機材変更したが、羽田空港の地上作業及び、新千歳空港の使用滑走を19に変更したことから22時07分に着陸となった。	騒音記録該当なし
21	12月30日	22:22	21:15				○	JAL 530	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)							○		当該便は前便のJAL3117が中部国際空港での横風により大幅遅れとなり、その影響を受けて離陸が22時22分となった。	騒音記録該当なし
22	1月13日	22:39	21:15	○				JAL 6765	B767-300	不定期・貨物	新千歳	広州白雲国際								○	機用品(機内食、ブランケット等)不足に伴う手配・調達並びに税関調整に時間を要したため。	植苗会館 22:39:44 61.0dB 琥珀荘 22:39:54 62.9dB 丹治沼 22:40:05 70.0dB 沼ノ端 22:40:56 65.5dB 沼ノ端東 22:40:57 65.8dB

令和2年度 深夜・早朝 新千歳空港 使用 通報
(24時間運用に係る深夜早朝便を除く。)

No.	離着陸日時		定刻	苫小牧		千歳		航空会社		機種	運航目的	路線		使用理由					使用理由内訳	騒音記録					
				離陸	着陸	離陸	着陸	便名	出発空港			到着空港	緊急事態	機材故障	天候	航空管制等	その他								
23	1月16日	22:50	21:45		○			ADO	37	B767-300ER	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳									当該便は羽田空港出発時にコックピット内でトラブルが発生し、部品交換及び動作確認に時間を要したため。	沼ノ端東 沼ノ端 丹治沼	22:47:06 22:47:09 22:48:40	73.1dB 62.5dB 78.0dB
24	2月1日	22:20	21:45				○	ADO	37	B737-700	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳									当該便は千歳空港到着時、最終侵入地点付近の乱気流により着陸までに時間を要したため。	該当なし		
25	2月16日	22:02	21:00	○				JAL	528	B767-200	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)									21時10分の滑走路の雪氷状況調査により、A滑走路は全区域使用不可能であり、21時16分のB滑走路の滑走路調査においても使用不可能な状態であったため、両滑走路とも離着陸できない状況であった。B滑走路の除雪を待ち、21時55分B滑走路オープン後に離陸したため。	琥珀荘 丹治沼 植苗会館 沼ノ端 沼ノ端東	22:04:01 22:04:06 22:04:12 22:04:54 22:05:08	65.1dB 70.8dB 61.6dB 61.3dB 60.9dB
26	2月16日	22:08	21:15	○				JAL	530	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)									同上	丹治沼 琥珀荘 植苗会館 沼ノ端 沼ノ端東	22:09:50 22:09:52 22:10:03 22:10:33 22:10:48	65.8dB 61.3dB 61.2dB 63.4dB 62.2dB
27	2月16日	22:13	21:35				○	ANA	79	B777-300	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳									当該機は羽田空港を3分遅れで出発し、新千歳空港に21時25分に着陸予定であったが、新千歳空港側は21時15分の滑走路雪氷状況調査により使用不可能な状態であったため、21時37分より滑走路上空に待機した。除雪終了後、滑走路は21時55分にオープンしたため着陸態勢に入ったが運用時刻を超過した。	該当なし		
28	2月16日	22:18	21:45				○	ADO	37	B737-700	定期・旅客	東京国際(羽田)	新千歳									新千歳空港の降雪による滑走路閉鎖のため。	該当なし		
29	2月26日	23:14	20:00				○	APJ	114	A320	定期・旅客	新千歳	関西国際									新千歳空港の降雪による離陸前翼面点検の結果、機体防除雪氷が必要と判断され、一度駐機場へ引き返した後に再出発したため。	該当なし		
30	3月1日	22:27	21:50				○	JAL	4502	A350-900	臨時・旅客	新千歳	東京国際(羽田)									翌日3月2日の新千歳空港は大雪が予報され、翌日に多数発生した欠航便の救済のために、当該便をJAL529の折り返しとしたため。	該当なし		
31	3月1日	22:33	22:05				○	ANA	9062	B777-300ER	空輸	新千歳	東京国際(羽田)									新千歳空港は発達中の前線を伴った低気圧の接近に伴う警報級大雪の予想を踏まえ、3月2日ANA50を事前欠航とし、本日のANA79の機材を折り返しの空輸便としたため。	該当なし		
32	3月2日	23:00	21:00				○	SKY	730	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際(羽田)									当該便に繋がる機材であるSKY710は、新千歳空港の降雪により大幅に出発が遅れ、当該便も誘導路が雪のため悪路となっており、離陸までに時間を要した。	該当なし		
33	3月16日	22:57	20:55	○				SKY	768	B737-800	定期・旅客	新千歳	中部国際									SKY730が機材の不具合で飛行不可となり、当該便に使用する機材がSKY729(22:02 新千歳着陸)からの接続となったため。	丹治沼 琥珀荘 沼ノ端 沼ノ端東	22:58:02 22:58:04 22:58:40 22:58:56	68.3dB 62.1dB 60.9dB 62.1dB

令和2年度 深夜・早朝新千歳空港使用通報
(24時間運用に係る深夜早朝便を除く。)

No.	離着陸日時		定刻		苫小牧		千歳		航空会社 便名		機種	運航目的	路線		使用理由						使用理由内訳	騒音記録		
					離陸	着陸	離陸	着陸					出発 空港	到着 空港	緊急 事態	機材 故障	天候	航空 管制等	その他					
34	3月17日	22:08	21:35			○		JAL 6767	B767-300	不定期・貨物	新千歳	広州 白雲国際							○	JAL6767便は貨物搭載量が多く、通常とは異なる重量管理が必要となり遅延が発生した。その後もスポットから千歳方面への地上走行に時間を要した。	該当なし			
35	3月20日	22:42	21:00	○				SKY 730	B737-800	定期・旅客	新千歳	東京国際 (羽田)							○	当該便にて使用予定の機材が新千歳空港到着時の不具合により飛行できず、SKY729 (22:05 新千歳空港着陸) からの接続となったため。	琥珀荘 22:43:17 63.5dB 丹治沼 22:43:37 66.1dB 沼ノ端 22:44:17 61.6dB 沼ノ端東 22:44:24 61.7dB			
36	3月20日	22:51	19:15			○		APJ 417	A320	定期・旅客	仙台	新千歳							○	仙台空港が地震により一時機能が停止（津波警報の回避）したため。	該当なし			
37	3月31日	22:05	21:35			○		JAL 6767	B767-300	不定期・貨物	新千歳	広州 白雲国際							○	新型コロナウイルス関連の搭載書類の準備に時間を要し、スポットからの動き出しに遅れが生じたため。	該当なし			

自肅時間飛行の多い便の遅延理由一覧(令和2年度)

(令和元年度又は令和2年度に10回以上遅延した便を抜粋)

会社・便別	令和 元年度		令和 2年度	増減数	遅延理由内訳	路線	夏ダイヤ R2.3.28～ R2.10.24 (便数)	冬ダイヤ R2.10.25～ R3.3.27 (便数)
全体	323	→	37	-286	機材故障:15 天候:8 管制等:1 その他:13			
ANA 全体	85	→	6	-79	機材故障:3 天候:1 その他:2			
79便	29	→	1	-28	天候:1	羽田→新千歳	21:35着 (0)	21:35着 (1)
84便	19	→	0	-19	-	新千歳→羽田	-	-
JAL 全体	108	→	13	-95	機材故障:5 天候:3 その他:5			
528便	11	→	3	-8	機材故障:2 天候:1	新千歳→羽田	21:05発 (2)	21:00発 (1)
529便	21	→	1	-20	機材故障:1	羽田→新千歳	-	21:15着 (1)
598便	29	→	0	-29	-	新千歳→羽田	-	-
ADO 全体	41	→	9	-32	機材故障:4 天候:2 管制等:1 その他:2			
37便	25	→	9	-16	機材故障:4 天候:2 管制等:1 その他:2	羽田→新千歳	21:45着 (4)	21:45着 (5)
SKY 全体	20	→	6	-14	機材故障:3 天候:1 その他:2			
JJP 全体	10	→	1	-9	その他:1			
その他	59	→	2	-57	天候:1 その他:1			

95dB以上の騒音発生回数

経年変化

(件)

	95dB以上の発生回数	内 訳				
		外国貨物機	外国旅客機	国内旅客機	自衛隊機等	海上保安庁
H22年度	39	0	0	0	39	0
H23年度	48	0	0	0	48	0
H24年度	27	0	0	0	27	0
H25年度	28	0	0	0	28	0
H26年度	15	0	0	0	15	0
H27年度	32	0	0	0	32	0
H28年度	25	0	0	0	25	0
H29年度	19	0	0	0	19	0
H30年度	16	0	0	0	16	0
R元年度	15	0	0	0	15	0
R2年度	11	0	0	0	11	0

※外国旅客機にはサミット関連、自衛隊機等には米軍機を含む。

丹治沼局の経年変化

(件)

	95dB以上の発生回数	内 訳				
		外国貨物機	外国旅客機	国内旅客機	自衛隊機等	海上保安庁
H22年度	2	0	0	0	2	0
H23年度	0	0	0	0	0	0
H24年度	0	0	0	0	0	0
H25年度	0	0	0	0	0	0
H26年度	1	0	0	0	1	0
H27年度	1	0	0	0	1	0
H28年度	0	0	0	0	0	0
H29年度	0	0	0	0	0	0
H30年度	0	0	0	0	0	0
R元年度	1	0	0	0	1	0
R2年度	0	0	0	0	0	0

令和2年度 95dB以上の航空機調査記録

測定局	月日	時刻	dB	離着	所属	機種	目的
植苗局	-						
ウトナイ局 2	4月15日(水)	18:22:23	96.5	着	自衛隊	F-15×1	通常訓練
	3月18日(木)	15:41:54	95.8	着	自衛隊	F-15×2	通常訓練
美沢局	-						
湖畔局	-						
斎藤宅局	-						
植苗公園局 1	1月14日(木)	14:38:41	95.1	着	自衛隊	F-15×2	通常訓練
勇払局	-						
沼ノ端東雲局	-						
勇払東局	-						
植苗会館	-						
丹治沼局	-						
琥珀荘	-						
沼ノ端東局	-						
沼ノ端局 8	5月18日(月)	9:44:00	96.8	着	自衛隊	F-15×2	通常訓練
	9月12日(土)	6:49:33	96.3	着	自衛隊	F-15×1	スクランブル
	10月15日(木)	12:14:38	95.2	着	自衛隊	F-15×1	通常訓練
	12月8日(火)	10:02:48	95.0	着	自衛隊	F-15×2	通常訓練
	12月15日(火)	18:41:04	96.3	着	自衛隊	F-15×2	通常訓練
	1月22日(金)	14:02:52	99.4	着	自衛隊	F-15×2	通常訓練
	1月25日(月)	10:52:01	96.1	着	自衛隊	F-15×1	通常訓練
	2月9日(火)	10:45:38	96.5	着	自衛隊	F-15×3	通常訓練

航空機騒音苦情

(1) 苦情件数の推移(カッコ内は件数)

年度	自衛隊機等によるもの	民間航空機によるもの	合計
H27	3件	2件	5件
内訳	高度(1)、早朝(1)、騒音(1)	騒音(2)	
H28	1件	0件	1件
内訳	騒音(1)	-	
H29	1件	0件	1件
内訳	騒音(1)	-	
H30	1件	0件	1件
内訳	騒音(1)	-	
R1	2件	5件	7件
内訳	航路(1)、騒音(1)	航路(2)、騒音(3)	
R2	2件	2件	4件
内訳	航路(1)、時間帯(1)	航路(1)、騒音(1)	

(2) 苦情発生地区(カッコ内は件数)

年度	自衛隊機等によるもの	民間航空機によるもの
H27	植苗(2)、拓勇西町(1)	明野新町(2)
H28	沼ノ端(1)	-
H29	澄川町(1)	-
H30	東開町(1)	-
R1	日新町(1)、元町(1)	日新町(1)、山手町(1)、柏木町(1)、東開町(1)、ウトナイ北(1)
R2	日新町(1)、柏木町(1)	日新町(2)

(3) 苦情発生月別内訳

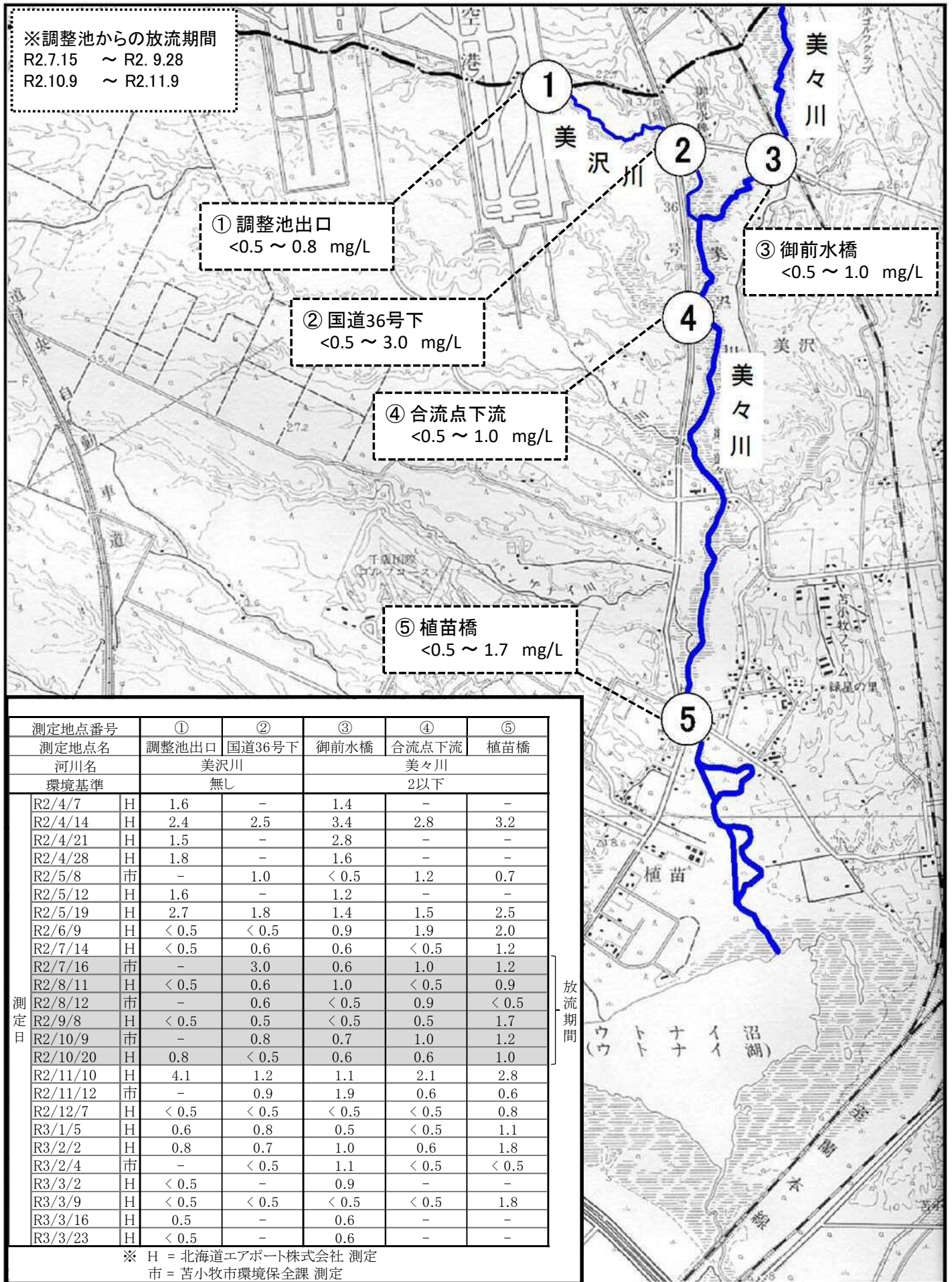
(件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27	-	-	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	5
H28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
H29	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
H30	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
R1	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	7
R2	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4

令和2年度

空港融雪剤に係る水質測定結果について

令和2年度 水質測定地点及びBOD測定結果(美沢川・美々川)



空港における防除雪氷剤・融雪剤の年間使用量の推移(10年間)

	防除雪氷剤			融雪剤
	タイプⅠ (kl)	タイプⅣ (kl)	合計 (kl)	蟻酸系 (kg)
平成23年度	614	477	1,091	84,770
平成24年度	616	562	1,178	14,810
平成25年度	642	618	1,260	16,800
平成26年度	539	544	1,083	48,600
平成27年度	495	536	1,031	112,400
平成28年度	799	713	1,512	244,100
平成29年度	668	589	1,256	329,700
平成30年度	707	713	1,420	307,720
令和元年度	613	587	1,200	227,890
令和2年度	497	302	799	297,410

※防除雪氷剤: 雪氷の除去や付着防止のため、航空機の機体に塗布するもの

タイプⅠ: プロピレングリコール80%、水20%

タイプⅣ: プロピレングリコール50%、水35%、増粘剤・防錆剤等15%

※融雪剤: 滑走路、誘導路、駐機場の凍結防止のために散布するもの

「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく助成事業実施一覧

◎第3条（学校、病院、福祉施設等の防音工事助成）

（単位：千円）

年度	事業名	補助金
H28	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,359
H29	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,467
H30	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,510
R1	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,556
R2	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,086
R3	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	(予定) 3,060
	勇払中学校防音機能復旧工事 実施設計	1,749
	勇払中学校(講堂)防音機能復旧工事 実施設計	1,300

◎第4条（一般住宅の防音工事）

（単位：世帯）

年度	住宅防音工事	機能復旧工事	
		空調機器	防音建具
H28	0	23	46
H29	2	13	16
H30	14	15	17
R1	9	17	6
R2	9	16	3

防音工事は従来、新規・追加の2段階に分けて実施されており、平成8年度に追加工事が工事実施区域の南端まで到達した事で一応の区切りとし、平成9年度からは、工事対象世帯であるが都合により実施していなかった世帯の工事を行っています。

空調機器機能復旧工事は、既に設置の暖房機・換気扇・レンジ扇が10年以上経過し故障している場合、取替工事を実施するものです。（再度も可）

◎第9条（特定防衛施設周辺整備調整交付金）

（単位：千円）

年度	事業名	交付金
H28	①美々遠浅線防雪柵設置事業	(15,800・交付金15,000)
	②苫小牧早来線改良舗装事業	(28,448・交付金27,000)
	③遊歩道「そよ風と遊ぶ道」改良舗装事業	(28,890・交付金27,000)
	④勇払6号公園整備事業	(20,175・交付金20,000)
	⑤児童用机・椅子整備事業	(9,324・交付金9,300)
	⑥大気汚染監視システム更新	(13,392・交付金13,000)
	⑦災害用備蓄品購入	(3,553・交付金3,458)
H29	①美々遠浅線防雪柵設置事業	(9,828・交付金9,000)
	②苫小牧早来線改良舗装事業	(43,406・交付金40,500)
	③遊歩道「そよ風と遊ぶ道」改良舗装事業	(20,736・交付金19,500)
	④勇払10号公園整備事業	(26,957・交付金26,000)
	⑤児童用机・椅子整備事業	(10,227・交付金8,987)
	⑥災害用備蓄品購入	(11,678・交付金11,384)
H30	①美々遠浅線防雪柵設置事業	(20,358・交付金19,500)
	②苫小牧早来線改良舗装事業	(40,630・交付金40,000)
	③植苗小中学校屋根改修工事	(31,212・交付金29,500)
	④遊歩道「そよ風と遊ぶ道」改良舗装事業	(11,070・交付金9,500)
	⑤児童用机・椅子整備事業	(5,921・交付金5,000)
	⑥災害用備蓄品購入	(12,284・交付金8,210)
R1	①美々遠浅線防雪柵設置事業	(11,088・交付金75,000)
	②土木車両整備事業（グレーダー購入）	(41,997・交付金40,000)
	③沼ノ端スケートセンター冷却塔改修工事	(16,500・交付金10,000)
	④勇払11条線改良舗装事業	(46,200・交付金44,500)
	⑤児童用机・椅子整備事業	(5,433・交付金4,342)
R2	①美々遠浅線防雪柵設置事業	(16,700・交付金15,000)
	②沼ノ端スケートセンター整備事業	(65,959・交付金65,000)
	③大気汚染常時監視測定機器整備事業	(6,567・交付金6,300)
	④土木車両整備事業（パトロール車）	(6,315・交付金5,900)
	⑤児童用机・椅子整備事業	(12,221・交付金11,000)
	⑥小学校給食配膳ワゴン整備事業	(16,720・交付金13,500)
	⑦災害用備蓄品購入	(3,548・交付金2,751)
R3	①美々遠浅線防雪柵設置事業	(20,800・交付金18,700)
	②沼ノ端スケートセンター冷凍機修繕等整備事業	(5,360・交付金4,800)
	③沼ノ端スポーツセンター空調機修繕等整備事業	(1,052・交付金1,000)
	④沼ノ端西4条線改良舗装事業	(25,000・交付金22,500)
	⑤児童用机・椅子整備事業	(17,794・交付金16,000)
	⑥第1学校給食共同調理場機器整備事業	(52,360・交付金43,000)

令和3年2月25日
千歳基地基地対策室

航空機の部品等落下について

標記について、下記のとおりお知らせします。

記

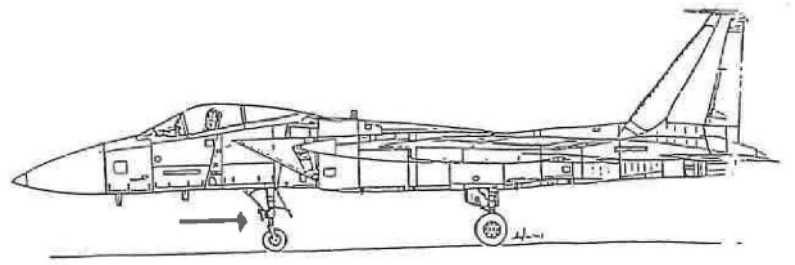
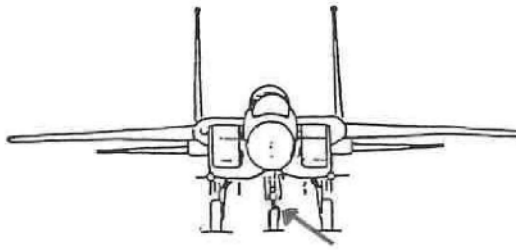
- 1 発生日時
令和3年2月25日（木）1050頃又は1216～1219頃
- 2 発生場所
千歳基地周辺
- 3 機種
F-15J 1機
- 4 落下部品
 - (1) ランディングライト
 - ア 大きさ
約20cm（直径）×約10cm（幅）
 - イ 重さ
約800g
 - (2) クランプ
 - ア 大きさ
約21cm（直径）×約1.7cm（幅）
 - イ 重さ
約50g
- 5 その他
細部は確認中です。

お問い合わせ先

航空自衛隊千歳基地基地対策室

担当：高橋、小林

0123-23-3101（内線2214）



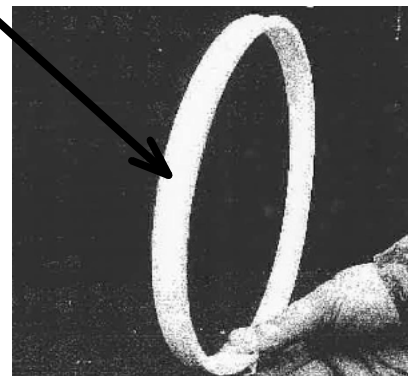
正常時



当該機



ランディングライト



クランプ

令和3年4月27日
航空自衛隊千歳基地

令和2年度（下半期）航空機部品等落下について

令和2年10月1日から令和3年3月31日までの間、航空自衛隊千歳基地において発生した航空機の部品等落下事案について、既にお知らせしたものを除き、下記のとおりお知らせします。

記

番号	発生日時	発生場所	機種	落下部品等		
				品名等	大きさ	重さ
1	令和2年 10月2日(金) 12:20～13:18 の間	千歳基地から日本海訓練空域までの間	F-15J	右エンジン・コネ タイプ・リンク固 定用ピン 及びキー・ワッシャー	(ピン2本) 約15mm×11mm/本 (キー・ワッシャー2個) 約12mm×16mm/個	(ピン2本) 約1g/本 (キー・ワッシャー2個) 約0.5g/個

(問い合わせ先)

航空自衛隊千歳基地

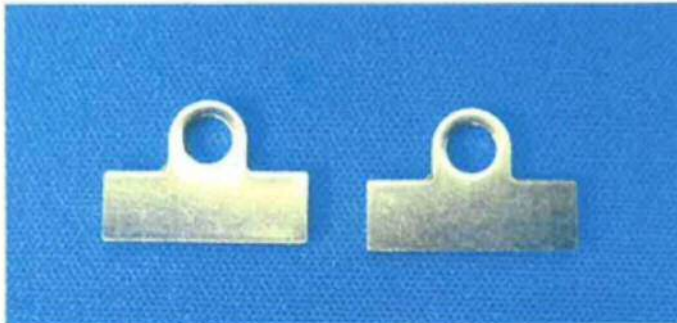
第2航空団司令部監理部基地対策室

担当：高橋、川崎

電話：0123-23-3101

(内線：2214)

脱落したキーワッシャ及びピン



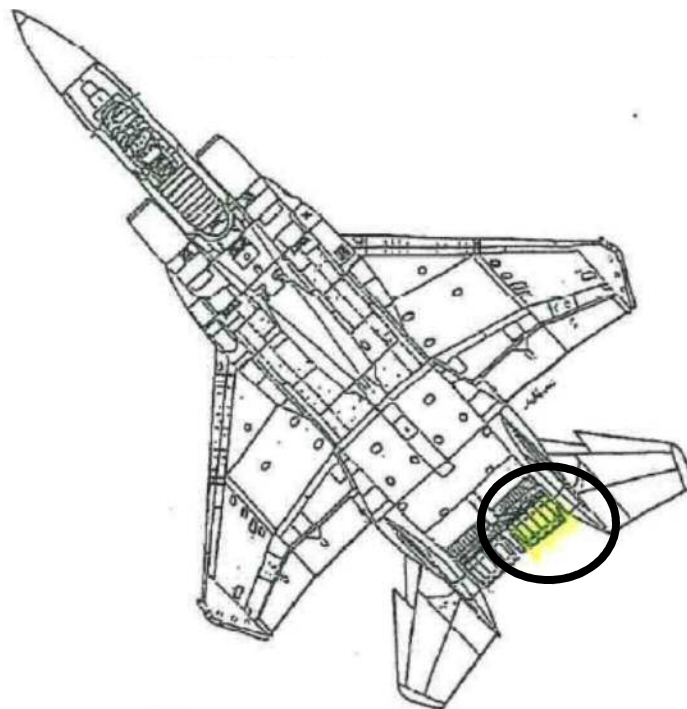
キーワッシャ

重量:約0.5g
縦:12mm
横:16mm
厚さ:0.1mm



ピン

重量:約1g
縦:15mm
横:11mm
厚さ:11mm
幅:6mm



令和 2 年度 再編関連訓練移転等交付金事業(結果)

(単位：千円)

事業名	総事業費	交付金				①-② 増減	
		当初額 R2年5月	①変更後 R2年11月	②確定額			
植苗・美沢地区	植苗小中学校備品整備事業	17,298	15,000	16,200	16,200	0	
	植苗ファミリーセンタースポーツ器具等整備事業	5,941	7,800	5,600	5,600	0	
	植苗児童クラブ整備事業	3,308	5,000	3,000	3,000	0	
	小計	26,547	27,800	24,800	24,800	0	14.1%
沼ノ端地区	沼ノ端駅前通り歩道改良工事	45,056	40,500	40,500	40,500	0	
	沼ノ端北9号公園整備事業	17,831	18,000	17,700	17,700	0	
	ウトナイ中学校備品整備事業	7,766	4,000	7,600	7,600	0	
	小計	70,653	62,500	65,800	65,800	0	37.3%
勇払地区	勇払消防分団車両更新	36,025	34,000	34,000	34,000	0	
	勇払防火水槽新設工事	18,909	9,300	9,300	9,300	0	
	小計	54,934	43,300	43,300	43,300	0	24.5%
三地区含む 共通	小中学校図書整備事業	10,102	10,000	10,000	10,000	0	
	小計	10,102	10,000	10,000	10,000	0	5.7%
共通	夜間・休日急病センター等医療機器整備事業	18,601	10,700	17,700	17,700	0	
	高齢者福祉センター備品等整備事業	3,710	5,700	5,700	3,700	-2,000	
	市立病院医療機器整備事業(最終調整弁)	11,680	0	8,980	10,980	2,000	
	小計	33,991	16,400	32,380	32,380	0	18.4%
合	計	196,227	160,000	176,280	176,280	0	

再編関連訓練移転等交付金

176,280千円

令和2年 4月 1日 定額分(一次配当決定) 101,908千円

令和2年10月23日 実績分(二次配当決定) 74,372千円

計 176,280千円

「北海道における空港経営改革」に関する主な経過

※令和 2 年度以降の経過

令和 2 年 6 月 1 日	新千歳空港の空港運営事業開始について
令和 2 年 6 月 22 日	令和 2 年度 第 1 回新千歳空港の運営に関する協議会の開催 (書面)
令和 2 年 11 月 16 日	令和 2 年度 第 2 回新千歳空港の運営に関する協議会の開催
令和 3 年 3 月 29 日	令和 2 年度 北海道内 7 空港の一体的運営に関する協議会の開催 (オンライン)
令和 3 年 5 月 26 日	令和 3 年度 第 1 回新千歳空港の運営に関する協議会の開催 (オンライン)

報道関係各位

2020年6月1日(月)

北海道エアポート株式会社

新千歳空港の空港運営事業開始について

北海道エアポート株式会社（本社：北海道千歳市、代表取締役社長：蒲生猛、以下「HAP」）は2020年6月1日から、道内7空港旅客ターミナルビル等の事業に続き、新千歳空港の空港運営事業（空港運用、保安防災、施設管理、灯火電気など）を開始いたします。また、空港運営の実務を担う「新千歳空港事業所」を同日付でHAP本社内に設置いたします。

当社では空港運営事業の承継に当たり、昨年10月以降、管理者である国土交通省から座学訓練、実技訓練、現場OJTなど8カ月間にわたる引き継ぎを受けてまいりました。

今後3～5年間はHAP社員に加え、同省から20人の出向職員によるご指導を頂き、安全・安心を第一とした空港運営の実現に向け、全社一丸となって着実に取り組んでまいります。

▶ 新千歳空港事業所の設置

場 所 北海道エアポート株式会社内

事業所長 阿部 直志 現 新千歳空港ターミナルビルディング株式会社（CAT）代表取締役社長
札幌国際エアカーゴターミナル株式会社（SIACT）代表取締役社長

副事業所長 矢澤 之敏 現 CAT取締役
SIACT専務取締役

黒田 光彦 現 HAP空港事業本部空港部空港運用課担当部長

人員体制 計55人体制（国土交通省からの出向者を除く）

▶ これまでの経緯と今後のスケジュール

2019年 8月23日 会社設立

10月31日 管理者（国、旭川市、帯広市、北海道）と実施契約締結

2020年 1月15日 7空港のターミナルビル会社等の運営を開始

6月 1日 新千歳空港の空港運営事業を開始

10月 1日 旭川空港の空港運営事業を開始

2021年 3月 1日 稚内、釧路、函館、帯広、女満別の5空港の
空港運営事業を開始

➤ 社長あいさつ

6月1日より新千歳空港の空港運営を開始するに当たり、管理者である国土交通省からの引き継ぎが無事完了しましたことに、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

私たちは全社一丸となって「安全安心の空港運営」という使命の下、承継した業務を確実に実行し、お客さまが安心してご利用いただける空港を目指してまいります。

また、北海道オペレーションセンター（HOC）を設置し、空港運營業務と旅客ターミナルビル運營業務の上下一体化および7空港の連携による体制強化を図るとともに、空港運用機能の高度化を進め、更なる安全・安心を確保いたします。

現在、新型コロナウイルスの影響による全国的かつ全世界的な経済・社会活動の制限や縮小により、航空需要が大幅に減少している状況が続いております。

当社としましては今後の航空需要の動きを注視しつつ、予測されるさまざまな課題に対して関係者の皆さまと連携しながら適切に対処してまいります。

蒲生 猛

➤ ご案内

新千歳空港の空港運營業務およびHOCに関する報道各社さま向け説明会を7月ごろ、予定しております。実施日程が決まりましたら、改めてご案内申し上げます。

<本件に関するお問い合わせ>

総務・人事部 広報課 課長 佐藤 寛康 070-7400-2364
慶長 佑亮 070-7401-0578

Hokkaido Airports Co., Ltd.

令和2年度 新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外着陸について

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他	
1	R02.06.11	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		目的地悪天による引き返し
2	R02.06.11	国内	東京国際	函館	JAL587		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
3	R02.06.16	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		目的地悪天による引き返し
4	R02.06.16	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		目的地悪天による引き返し
5	R02.06.22	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		目的地悪天による引き返し
6	R02.06.27	国内	新千歳	青森	JAL2805		○		目的地悪天による引き返し
7	R02.07.07	国内	新千歳	中部国際	ANA710	○			icingトラブルの為引き返し（不具合表示が点灯）
8	R02.08.04	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		目的地悪天による引き返し
9	R02.08.05	国内	新千歳	利尻	ANA4929		○		目的地悪天による引き返し
10	R02.08.07	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		目的地悪天による引き返し
11	R02.08.07	国内	大阪国際	釧路	ANA1145		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
12	R02.08.09	国内	新千歳	青森	JAL2803		○		目的地悪天による引き返し
13	R02.08.11	国内	松本	丘珠	FDA225		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
14	R02.08.23	国内	静岡	丘珠	FDA173		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
15	R02.09.07	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		目的地悪天による引き返し
16	R02.09.07	国内	成田国際	釧路	APJ591		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
17	R02.09.18	国内	新千歳	新潟	ANA1860	○			プロップデアイシングワーニング表示により引き返し
18	R02.10.26	国内	新千歳	中部国際	ANA712			○	離陸後4000f付近でバードストライク発生し引き返し
19	R02.11.06	国際	エリゾヴォ（ロシア）	仙台	N83FM			○	給油のため目的地外着陸
20	R02.11.06	国際	エリゾヴォ（ロシア）	仙台	N1189K			○	給油のため目的地外着陸

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他	
21	R02.11.19	国内	釧路	丘珠	JAL2862		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
22	R02.11.19	国内	女満別	丘珠	JAL2720		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
23	R02.11.19	国内	仙台	丘珠	JA121N		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
24	R02.11.20	国内	成田国際	釧路	APJ125		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
25	R02.11.20	国内	新千歳	釧路	ANA4873		○		目的地悪天による引き返し
26	R02.12.16	国内	伊丹	青森	ANA1853	○			アンチアイス関係の不具合、青森空港の悪天候の為、新千歳空港へ目的地外着陸
27	R02.12.20	国内	新千歳	中標津	ANA4881		○		目的地悪天による引き返し
28	R02.12.26	国内	女満別	丘珠	JAL2720		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
29	R02.12.26	国内	東京国際	稚内	ANA571		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
30	R02.12.26	国内	東京国際	旭川	ADO83		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
31	R02.12.28	国内	女満別	丘珠	JAL2720		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
32	R02.12.30	国内	新千歳	中部国際	ADO136		○		目的地悪天による引き返し
33	R02.12.30	国内	新千歳	中部国際	ANA712		○		目的地悪天による引き返し
34	R03.01.02	国内	三沢	丘珠	JAL2818		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
35	R03.01.07	国内	那覇	成田	JJP304		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
36	R03.01.11	国際	千歳	クラーク (フィリピン)	N410FA	○			engine compressor stall発生の為引き返し
37	R03.01.13	国内	千歳	釧路	ANA4871		○		目的地悪天による引き返し
38	R03.01.13	国内	釧路	丘珠	JAL2862		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
39	R03.01.20	国内	新千歳	中標津	ANA4885		○		目的地悪天による引き返し
40	R03.01.31	国内	羽田	釧路	ADO73		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
41	R03.02.08	国内	函館	丘珠	JAL2740		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他	
42	R03.02.08	国内	新千歳	仙台	IBX48	○			システムトラブルの為、新千歳空港へ引き返し
43	R03.02.09	国内	新千歳	稚内	ANA4841		○		目的地悪天による引き返し
44	R03.02.24	国内	新千歳	青森	JAL2805		○		目的地悪天による引き返し
45	R03.02.24	国内	新千歳	稚内	ANA4843		○		目的地悪天による引き返し
46	R03.02.26	国内	利尻	丘珠	JAL2882		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
47	R03.02.26	国内	釧路	丘珠	JAL2864		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
48	R03.02.26	国内	函館	丘珠	JAL2748		○		目的地悪天による新千歳空港へ目的地外着陸
49	R03.02.28	国内	新千歳	稚内	ANA4841		○		目的地悪天による引き返し
50	R03.03.03	国内	新千歳	中標津	ANA4881	○			機体に振動があるとのことで引き返し。原因は機体に氷が付着していたもの。
51	R03.03.10	国内	新千歳	中標津	ANA4885		○		目的地悪天による引き返し
52	R03.03.20	国内	新千歳	仙台	ADO110			○	仙台空港地震の為、新千歳空港へ引き返し
令和2年度 国内 引き返し 27件 (機械不具合4、天候21、その他2) 目的地外着陸 22件 (機械不具合1、天候21) 国際 引き返し 1件 (機械不具合1) 目的地外着陸 2件 (その他2)									

北海道エアポート株式会社より

令和3年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動(案)

1 要望時期

令和3年9月頃

2 要望先

■国会議員（議員会館：千代田区永田町）

衆議院議員 堀井 学
衆議院議員 山岡 達丸

参議院議員 橋本 聖子

■国土交通省

国土交通大臣
国土交通副大臣
国土交通大臣政務官
航空局（千代田区霞が関 2-1-3）
局 長
航空ネットワーク部長
空港業務課長
東京航空局（千代田区九段南 1-1-15）
局 長
次 長
総務部長
空港部長
保安部長
安全管理官
空港部次長
総務部総務課長
総務部航空振興課長
空港部管理課長
空港部環境・地域振興課長
空港部空港企画調整課長
空港部土木建築課長
保安部技術保安企画調整課長
保安部管制課長
保安部管制技術課長
新千歳空港事務所（千歳市美々）
空 港 長

■防衛省

防衛大臣
防衛副大臣
防衛大臣政務官
防衛政策局（新宿区市ヶ谷本村町 5-1）
局 長
防衛政策課長
運用政策課長
地方協力局（新宿区市ヶ谷本村町 5-1）
地方協力局長
地方協力企画課長
地方調整課長
防音対策課長
航空幕僚監部（新宿区市ヶ谷本村町 5-1）
航空幕僚長
総務部長
運用支援・情報部 運用支援課長
総務部 総務課 基地対策室長
航空自衛隊第2航空団（千歳市平和）
千歳基地司令
北海道防衛局（札幌市中央区大通西 12）
局 長
次 長
企画部長

■北海道エアポート株式会社

3 要望書

別紙のとおり

要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」に
ついて、別記理由により特段の御高配を賜り
ますようお願い申し上げます。

令和3年9月 日

苫小牧市長 岩 倉 博 文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長

理由書(案)

国土交通省
北海道エアポート(株)

新千歳空港につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、航空路線の減便や運休が続く中、道内空港を取り巻く状況は依然として厳しいものとなっておりますが、将来を見据えた空港施設の新設・改修が計画されるなど、北海道のリーディングゲートウェイとしてさらなる発展が期待されております。

現在、新千歳空港を離着陸する航空機数は減少しておりますが、空港周辺住民から航空機騒音等に対する要望や苦情が寄せられるなど、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国(貴社)におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること

- 4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」

／「防音対策事業」について、別記理由により

特段の御高配を賜りますようお願い申しあ

げます。

令和3年9月 日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長

理 由 書（案）

千歳飛行場につきましては、航空自衛隊による通常訓練や政府専用機の訓練に加え、米軍再編に伴う訓練移転や他国との共同訓練などにより航空機騒音が増え、また、近年、自衛隊機による部品落下事故も繰り返し発生しております。

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっておりますが、飛行場周辺住民は、航空機騒音に悩まされるとともに、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 市街地上空での低空飛行を避けること
- 2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること
- 3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること
- 4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること
- 5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

理 由 書（案）

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあつて、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、在日米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること

令和3年度 再編関連訓練移転等交付金事業（案）

（単位：千円）

事業名		交付金	
植苗・美沢地区	除雪車両整備事業	50,000	
	星ヶ丘13号線改良舗装工事(実施設計)	6,300	
	小計	56,300	43.3%
沼ノ端地区	東開町防火水槽新設工事	20,000	
	ウトナイ・青翔中学校教育環境整備事業	12,600	
	小中学校蓄電器整備事業	9,000	
	小計	41,600	32.0%
勇払地区	勇払公民館火災受信機等整備事業	12,100	
	勇払小学校・中学校教育環境整備事業	6,900	
	小計	19,000	14.6%
三地区含む共通	小中学校図書整備事業	10,000	
	小計	10,000	7.7%
共通	市立病院医療機器整備事業（最終調整弁）		
	小計	0	0.0%
合計		126,900	

再編関連訓練移転等交付金

130,000千円（見込み）